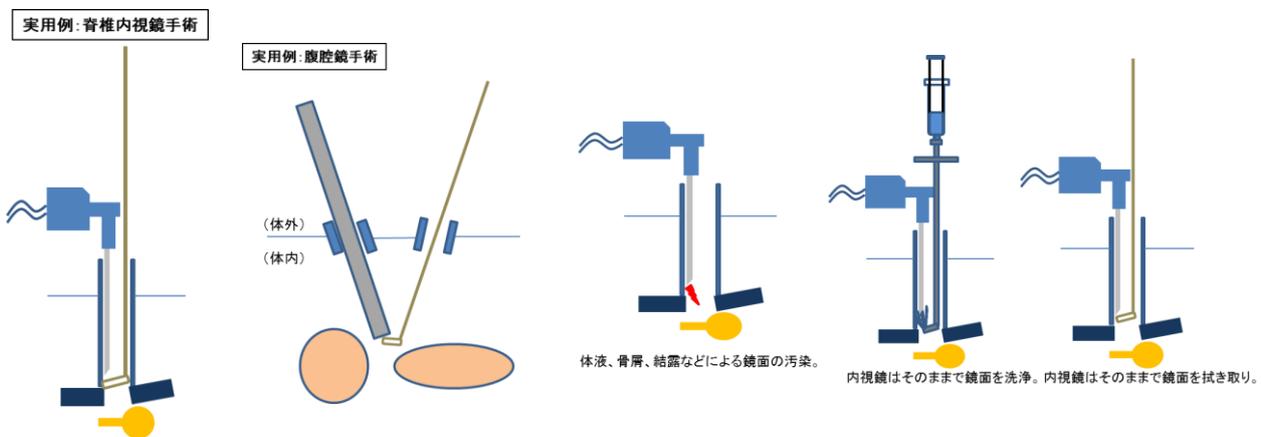


	シリーズ名	内視鏡鏡面洗浄装置
	所属・役職・氏名	整形外科学・准教授・寺井 秀富 (TERAI, Hidetomi)

<要旨>

内視鏡を用いる手術の特長は、従来手術のように大きな切開を必要とせず、体内に設置した内視鏡から手術操作部を視認できるという点にある。しかし、体内で鏡面が汚染された場合、その都度内視鏡を体外に取り出して洗浄し、あらためて体内に挿入しなければならない。その間、手術部位からの視覚情報は断たれるので、出血しているときや重要な操作を行っているときは大変危険である。そのうえ、内視鏡を体内のもとの位置に戻すには熟練を要し、また、手術時間が延びるという課題があった。本発明は、これらの課題を解決するものである。即ち、内視鏡を体内に設置したまま鏡面を効率よく洗浄し、視覚情報を確保することが出来る装置を提供するものである。

<研究シリーズ説明>



<アピールポイント>

本発明が提供する内視鏡洗浄セットを用いれば、従来の内視鏡手術方法を変更することなく行え、しかも、手術中は手術部位の視覚情報を保つことが出来、体外に取り出して洗浄する必要がないので手術時間を節約することが可能である。患者にとっては安全に、術者にとっては安全でストレスなく手術が行えるようになる。

<利用・用途・応用分野>

非灌流型内視鏡手術全般、本製品は内視鏡を用いた手術を日常的に行うと考えられる先進国を対象に考えている。

<知的財産権・論文・学会発表など>

1. Terai H, Borenstein JT, Vacanti JP.: Tissue Engineering of Three-Dimensional Vascularized using Microfabricated Polymer Assembly Technology. (US PAT. 1-038,891)
2. 出願番号：特願2013-173371 (出願日：2013年8月23日)
「内視鏡洗浄セット、内視鏡先端面用クリーナー、及び内視鏡先端面用ワイパー」

<他分野に求めるニーズ>

タンパクを変性させずに骨融解させることができる技術・薬剤

キーワード	内視鏡, 洗浄装置, ワイパー
-------	-----------------